

日増しに春めいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

朝日に映える垣根の奥には、
薄紅の梅や臙脂のボケの花が開いています。
若葉の薄緑も鮮やかに、
狂い咲きの八重桜も見えています。
今日もいい天気。
今夜は、深い空に淡い春の星が煌めき、
大輪の銀河や小粒の星団が花を添えそうです。

それでは今月も行ってみましょう。

2026年 3月

【主な現象】

3月 2日	レグルスの食（東京：潜入20時30分、出現21時34分）
3月 3日	満月（20時38分）皆既月食 食の最大20時33分
3月 7日	水星が内合（ 1時27分）
3月10日	月が最遠（22時43分）
3月11日	下弦（半月）（18時39分）
3月19日	新月（10時23分）
3月20日	春分（23時46分）
3月22日	月が最近（20時40分）
3月23日	海王星が合（10時32分）
3月26日	上弦（半月）（ 4時18分） 土星が合（19時21分）

【解説】

★3月2日レグルスの食は月齢：13.0の月に潜入して出現するところがほぼ日本全土（沖縄以外）で見られます。

食の進行（東京）

潜入	20時31分	南東の空高度約50°
出現	21時35分	南東の空高度約60°

★3月3日の満月は皆既月食となり部分食以降は日本全国で見られます。

西日本では月で前に半影食が始まります。

東京での進行

半影食の始まり	17時43分		
部分食の始まり	18時50分		
	19時10分	食分	0.16
	19時20分	食分	0.45
	19時40分	食分	0.72
皆既食の始まり	20時04分	食分	1.00
食の最大	20時34分	食分	1.16
皆既食の終わり	21時03分	食分	1.00
	21時20分	食分	0.82
	21時40分	食分	0.55
	22時00分	食分	0.25
部分食の終わり	22時18分	食分	0.00
半影食の終わり	23時24分		

★春分は太陽が春分点を通過する（太陽黄経が0となる）瞬間で、その瞬間を含む日が、春分日となります。

★夕方西の空の黄道光が見やすくなっています。

春の夕方は黄道が地平線に対して立つので、黄道光の高度が高くなって見やすくなります。黄道光は、太陽から黄道に沿って延びる光の帯です。黄道光は天の川より淡いので、天の川がはっきり見える様な暗い空のところで、日が暮れて星が出そろったらすぐに、黄道星座を目安にして探してみましよう。夕方に月の無い3月中旬が見ごろです。

【観望案内】

★接近

- △ 3月上旬 金星と土星が
夕方西の地平線近く（18時30分以前）で
かなり接近して見えます。
見ごろは18時00分ごろでしょう。
- △ 3月中旬 水星と火星が
日の出前東の地平線近く（5時20分以降）で
かなり接近して見えます。
見ごろは5時20分ごろでしょう。
- 3月07日 スピカと月（月齢17.1）が
夜半に南東の空（21時40分以降）で
かなり接近して見えます。
見ごろは0時00分ごろでしょう。
- 3月11日 アンタレスと月（月齢21.2）が
未明に南東の空（0時40分以降）で
かなり接近して見えます。
見ごろは3時00分ごろでしょう。
- △ 3月18日 水星と火星と細い月（月齢28.4）が
日の出前東の地平線近く（5時15分以降）で
かなり接近して見えます。
見ごろは5時20分ごろでしょう。
- ◎ 3月20日 金星と細い月（月齢1.3）が
夕方西の低い空（17時50分以降）で
かなり接近して見えます。
見ごろは18時30分ごろでしょう。
- ◎ 3月26日 木星と月（月齢7.4）が
夕方南西の空（3月27日 1時40分以前）で
接近して見えます。
見ごろは19時00分ごろでしょう。
- 3月27日 ポルックスと月（月齢8.4）が
夕方南の空（3月28日 2時40分以前）で
接近して見えます。
見ごろは19時00分ごろでしょう。
- 3月29日 レグルスと月（月齢10.4）が
夕方南東の空（3月30日 4時00分以前）で
接近して見えます。
見ごろは20時00分ごろでしょう。
- ※ ◎：非常に接近するか、見た目が特にきれいと思います。
○：見ておもしろいと思います。
△：高度が低かったり、薄明の中であつたりで見にくいと思います。
但し、朝焼けや夕焼けと山の稜線も入れて写真にする等
意外とおもしろい可能性はあります。
◇：双眼鏡や望遠鏡で見られます。

★日没

東京での日没は

3月 1日	17時36分
3月 8日	17時42分
3月15日	17時48分
3月22日	17時54分

★今宵の空

日が暮れると（19時～20時ごろ）

まだ冬の星座がよく見えています、東の方にはもう春の星座が見えはじめています。

天頂付近の空 木星、ふたご座、やまねこ座、かに座

南の空

高	こいぬ座、いっかくじゅう座
中	おおいぬ座、とも座、らしんばん座
低	りゅうこつ座の一部、ほ座の一部

南西の空

高	オリオン座
中	うさぎ座、はと座、エリダヌス座
低	ちょうこくぐ座

西の空

高	ぎょしゃ座、おうし座
中	おひつじ座

北西の空

高	ペルセウス座
中	カシオペヤ座、さんかく座
低	アンドロメダ座

北の空

高	きりん座
中	ケフェウス座、こぐま座
低	りゅう座

北東の空

高	おおぐま座
中	りょうけん座

東の空

高	こじし座、しし座
中	かみのけ座
低	おとめ座

南東の空

高	うみへび座の上半身
中	ろくぶんぎ座、コップ座
低	ポンプ座

がでています。

★星のお話

カメレオン [カメレオン]

設定者：バイエル

Chamaereon (Cha)

面積：132平方度

《The Chameleon^{★01)}》

大航海時代に、南半球で、オランダのケイセルとハウトマンが行った観測を元に1598年にプランキウスが天球儀に描いたのが始まりといわれています。^{★02)}

ドイツのバイエルが1603年に星図ウラノメトリアに記載して知られるようになりました。^{★02)}

天の南極の近くに位置して、無人島を含めた日本の領土最南端からでも、一部分も見えない4星座の一つです。^{★03)}

*星の並び

日本で春の星座、しし座、コップ座、からす座の遥か南ケンタウルス座みなみじゅうじ座、りゅうこつ座、はえ座を超えてまだ南の天の南極近くにあります。

$\alpha - \gamma - \beta - \delta - \theta - \alpha$ と非常に細長い五角形に並んでいます。

細長いものというのとは分かりますが、カメレオンは想像が付きません。この細長い五角形は全て4等星で粒がそろっていて、周囲に明るい星も無いので、暗いながら分かりやすいかもしれません。

*星の名前

固有名の付いている星は無いようです。

*観望

星雲や星団はほとんどありませんが、肉眼2重星があります。

2重星 $\delta 1 \delta 2$ (肉眼)^{★04)}

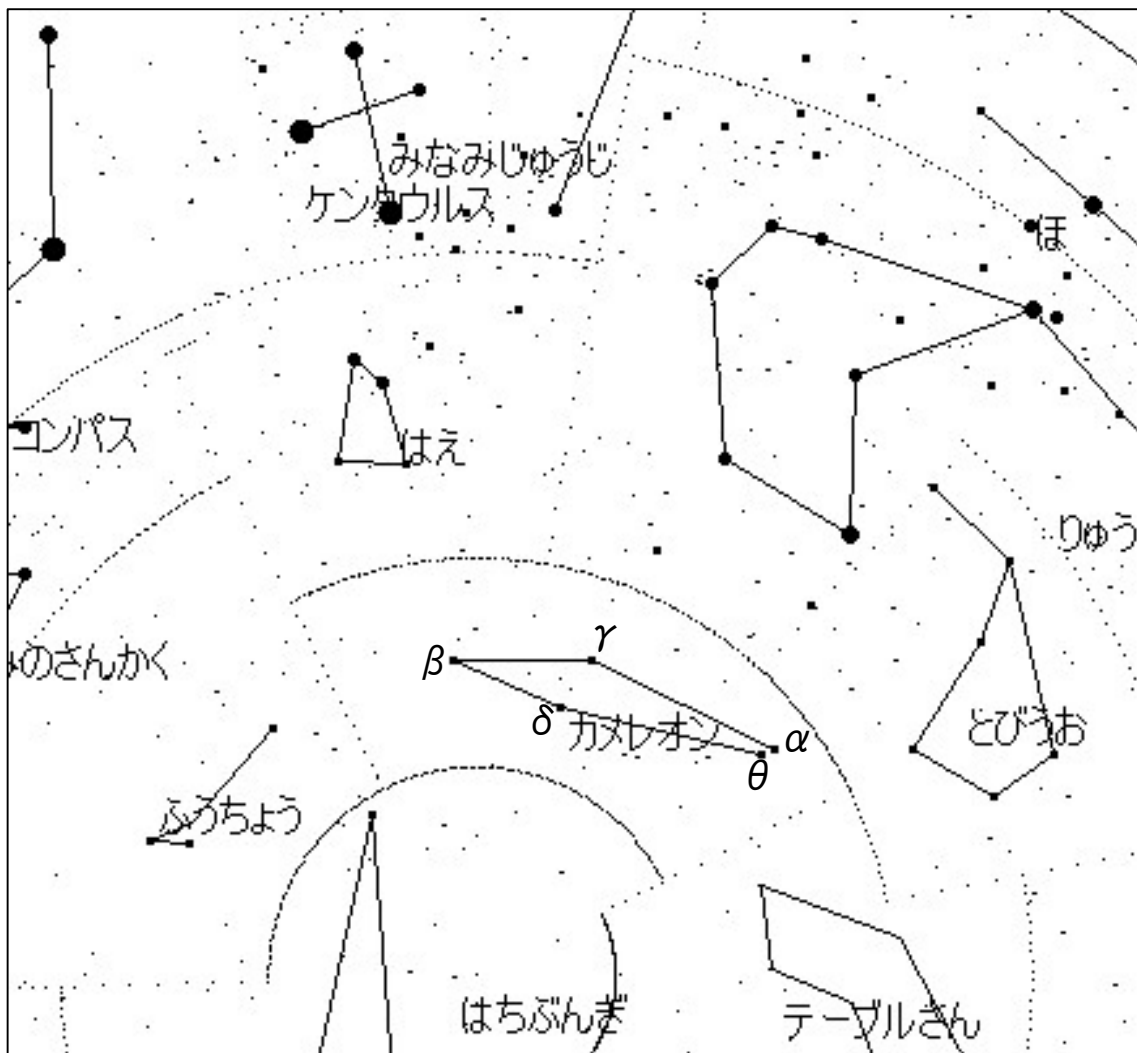
*補足

$\delta 2$ 星は距離410光年の距離にあり、みかけの明るさは4.6等です。

$\delta 2$ と $\delta 1$ 星との角距離は7'で、 $\delta 1$ はさらに0.5"離れた6.1等と6.4等の2つの星からなり、距離は1100光年です。^{★04)}

*神話

17世紀に新設された星座なので神話はありません。



☆01) 【 I A U <https://www.iau.org/public/themes/constellations/>】

☆02) 【星の文化史事典 出雲晶子 白水社】

☆03) 【星座 沼澤茂美・脇屋奈々代 ナツメ社】

☆04) 【カラー天文百科 小平桂一 監修 平凡社】

★夜更けの空

夜が更けると（22時～23時ごろ）

春の星座が出そろっています。

天頂付近の空　こじし座

南の空

高　しし座、ろくぶんぎ座

中　コップ座、うみへび座、ポンプ座、らしんばん座

低　ほ座、ケンタウルス座の一部

南西の空

高　かに座、こいぬ座

中　いっかくじゅう座

低　おおいぬ座、とも座

西の空

中　木星、ふたご座、ぎょしゃ座

低　オリオン座、おうし座

北西の空

高　やまねこ座

中　きりん座

低　ペルセウス座

北の空

高　おおぐま座

中　きりん座、こぐま座、りゅう座

低　カシオペヤ座、ケフェウス座

北東の空

低　ヘルクレス座

東の空

高　りょうけん座、かみのけ座

中　うしかい座、かんむり座

低　へび座（頭部）、てんびん座

南東の空

中　おとめ座、からす座

★惑星

水星は、3月初頭には夕方西の地平線近く、3月下旬には明け方東の空に見えます。

3月7日が内合で3月に間に夕方から明け方へと移り変わります。

3月 1日は、18時31分に沈みます。

3月 8日は、5時46分に昇り、11時41分に南中します。

3月15日は、5時08分に昇ります。

3月22日は、4時42分に昇ります。

金星は、夕方南西の地平線近くに見えます。

3月 1日は、18時35分に沈みます。

3月 8日は、18時50分に沈みます。

3月15日は、19時04分に沈みます。

3月22日は、19時19分に沈みます。

火星は、みずがめ座にいて、日の出前東の地平線近くに見えます。

3月 1日は、5時46分に昇ります。

3月 8日は、5時34分に昇ります。

3月15日は、5時21分に昇ります。

3月22日は、5時07分に昇ります。

木星は、ふたご座にいて、宵に南の高い空に見えます。

3月 1日は、20時10分に南中し、3時27分に沈みます。

3月 8日は、19時42分に南中し、2時59分に沈みます。

3月15日は、19時15分に南中し、2時31分に沈みます。

3月22日は、18時48分に南中し、2時04分に沈みます。

土星は、うお座にいて、太陽の近くにいます。

3月 1日は、13時15分に南中し、19時13分に沈みます。

3月 8日は、12時50分に南中し、18時50分に沈みます。

3月15日は、12時26分に南中し、18時26分に沈みます。

3月22日は、12時02分に南中し、18時03分に沈みます。

天王星は、おうし座にいて、夕方西の空にいます。

3月 1日は、23時47分に沈みます。

3月 8日は、23時21分に沈みます。

3月15日は、22時54分に沈みます。

3月22日は、22時28分に沈みます。

海王星は、うお座にいて、太陽の近くにいます。

3月 1日は、13時11分に南中し、19時11分に沈みます。

3月 8日は、12時44分に南中し、18時44分に沈みます。

3月15日は、12時18分に南中し、18時18分に沈みます。

3月22日は、5時51分に昇り、11時51分に南中します。

(出没の時刻は東京での目安です)

【スター紹介】

★M48★NGC2548

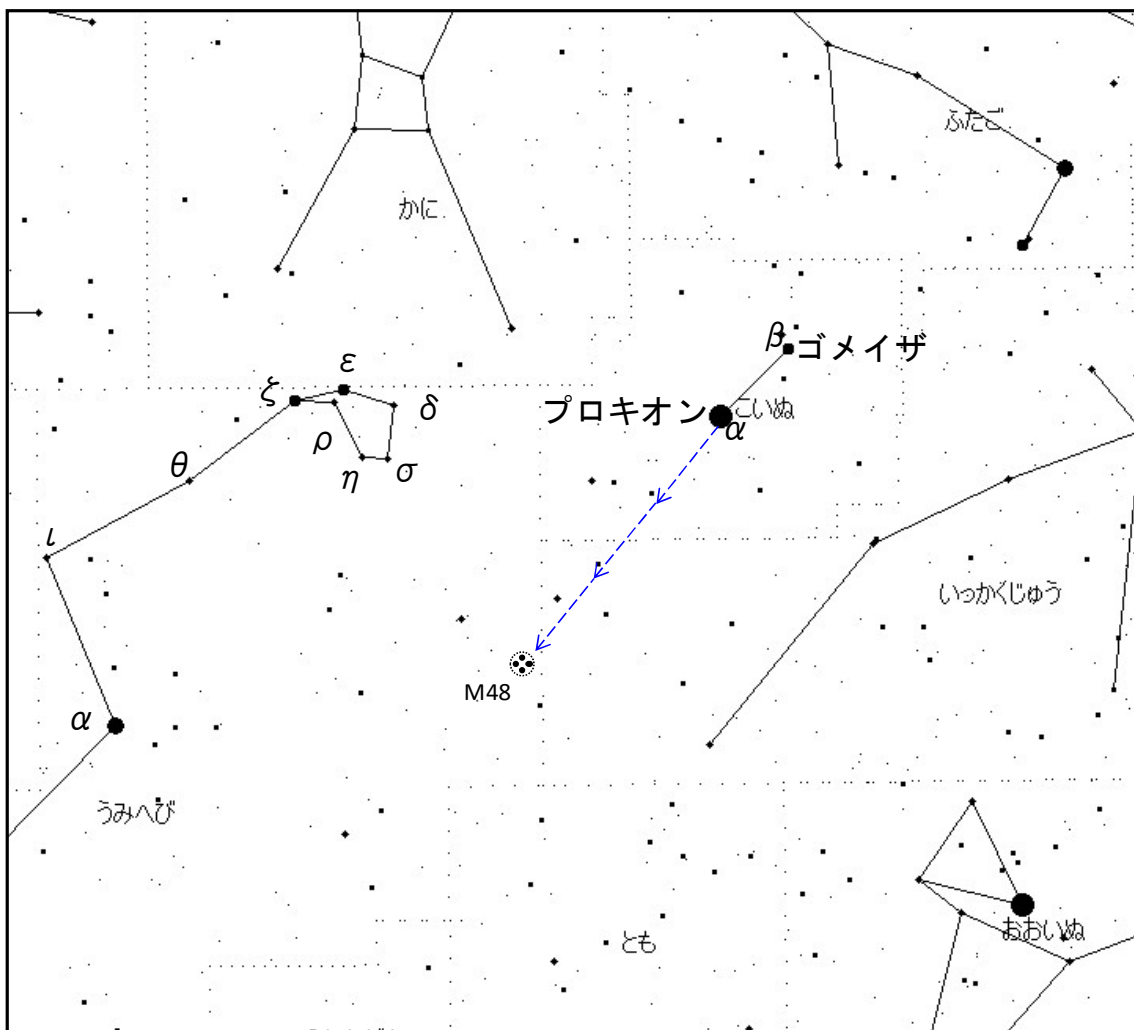
うみへび座にある散開星団です。

距離は3090光年で、大きさは27光年、見かけの大きさは30' ^{☆05)}で、我々の銀河系内の星団です。満月の直径が約30' ですから、同じくらいで意外と大きく広がっていますが、タイプfで密集度の高い星団です。

M48はメシエの示した位置「いっかくじゅう座の尾のつけねの3等星に近いところ ^{☆06)}」には見当たらず、位置不明の天体とされていましたが、現在では近くのNGC2548とされています。

うみへび座の頭の方で、いっかくじゅう座との境界近くにあります。

双眼鏡で見るときは、こいぬ座の α （プロキオン）と β （ゴメイザ）を結んで、プロキオンの方に3倍ほど延ばしたところに振っていくと、星雲状のぼんやりした光の固まりがすぐに見つかります。望遠鏡で見ると星の集まりであることが判ります。





M 4 8 口径 1 3 c m にて撮影

☆05)【天文年鑑 2 0 2 5 年版 天文年鑑編集委員会 編著 誠文堂新光社】

☆06)【メシエ天体アルバム 月刊天文ガイド別冊 下保茂 誠文堂新光社】

【まめ知識】

★幻の惑星バルカン★

水星の軌道がおかしい、何かによって力を受けている、と 1 8 5 9 年に発表したのは、天王星の動きの狂いから、当時まだ発見されていない海王星の位置を予測して当てたフランスのルベリエでした。

可能性としては水星より内側に惑星があるということで、搜索を呼びかけましたが、水星でもなかなか見られないのにそれより太陽に近いと観測は困難で皆既日食の時か太陽面を通過する影を探すしかありません。

ルベリエの呼びかけにすぐに答えたのはフランスの医師レカルポーで、ルベリエの発表より少し前の 1 8 5 9 年 3 月 2 6 日に未知の惑星らしい天体が太陽面を横切るのを観測したと発表しました。ルベリエはレカルポーに会見すると、時間は秒針の無い古い懐中時計で、計算も間違いだらけで、がっかりしましたが、その惑星に「バルカン」（ローマ神話の火と鍛冶の神）と名付けました。また、1 8 6 2 年 3 月 2 0 日のイギリスのルミスの観測からフランスのバルツとラドーの 2 人の算出した軌道はカルポーの観測した天体と同じころに太陽面を通過するので注目を集めました。

しかし、その後太陽面通過の観測が盛んに行われましたが、惑星状天体は見つからず反対論が強くなっていきました。イギリスの天文学者で小惑星の発見で多くの業績を残したハインドはバルツの計算は間違っているとして太陽面通過の予報をいくつか挙げましたがどれもバルカンは観測されませんでした。☆07)

また、1 8 7 8 年 7 月 2 9 日北アメリカの皆既日食で、ワトソン（後のミシガン大学天文台長、2 3 個の小惑星を発見）が 2 つの無名の星を記録同日食でスイフト（1 3 個の彗星、2 0 0 個の星雲を発見したアマチュア天文家）2 つの星を記録しましたが、ピーターズ（2 個の彗星と 4 8 個の小惑星を発見した天文学者）が誤りと否定しました。

アインシュタインが発表した相対性理論で水星軌道の狂いを説明できる様になってバルカン存在説は廃れていきました。☆07)

【付録】

★ ω Cen (オメガ・ケンタウリ) 南中時刻 2026年(東京)

03月01日	2時34分
03月02日	2時30分
03月03日	2時26分
03月04日	2時22分
03月05日	2時19分
03月06日	2時15分
03月07日	2時11分
03月08日	2時07分
03月09日	2時03分
03月10日	1時59分
03月11日	1時55分
03月12日	1時51分
03月13日	1時47分
03月14日	1時43分
03月15日	1時39分
03月16日	1時35分
03月17日	1時31分
03月18日	1時27分
03月19日	1時23分
03月20日	1時20分
03月21日	1時16分
03月22日	1時12分
03月23日	1時08分
03月24日	1時04分
03月25日	0時60分
03月26日	0時56分
03月27日	0時52分
03月28日	0時48分
03月29日	0時44分
03月30日	0時40分
03月31日	0時36分

★水星の日出30分前の高度 2026年(東京)

	時刻	高度°	方位角°	離角°
3月14日	5時21分	1.1	276.9	-13
3月15日	5時19分	1.8	278.0	-14
3月16日	5時18分	2.4	278.9	-16
3月17日	5時16分	2.9	279.8	-17
3月18日	5時15分	3.4	280.6	-18
3月19日	5時13分	3.8	281.3	-20
3月20日	5時12分	4.1	281.9	-21
3月21日	5時11分	4.5	282.6	-22
3月22日	5時10分	4.9	283.1	-23
3月23日	5時08分	5.1	283.4	-24
3月24日	5時07分	5.2	283.7	-25
3月25日	5時05分	5.4	283.9	-25
3月26日	5時04分	5.5	284.0	-26
3月27日	5時02分	5.5	284.1	-26
3月28日	5時01分	5.5	284.1	-27
3月29日	4時59分	5.5	284.0	-27
3月30日	4時58分	5.5	283.9	-27
3月31日	4時56分	5.5	283.7	-27

それではまた。

【参考文献】

- ☆01) I A U <https://www.iau.org/public/themes/constellations/>
- ☆02) 星の文化史事典 出雲晶子 白水社
- ☆03) 星座 沼澤茂美・脇屋奈々代 ナツメ社
- ☆04) カラー天文百科 小平桂一 監修 平凡社
- ☆05) 天文年鑑2025年版 天文年鑑編集委員会 編著 誠文堂新光社
- ☆06) メシエ天体アルバム.....月刊天文ガイド別冊.....下保茂.....誠文堂新光社
- ☆07) おはなし天文学 齊田博 地人書館